

## 普及啓発活動について

## (1) 団体等向け普及啓発

## ○愛知県警本部開催相談業務関係機関等連絡会議

ア 実施日 平成29年11月15日

イ 対象 県内行政機関（中部管区行政評価局始め11機関36部署）

## (2) 職員向け普及啓発

## ○各部局主催の職員研修

ア 実施日 平成29年4月～平成30年3月

イ 対象 所属職員（646名）

## (3) 一般県民向け普及啓発

## ○障害及び障害者に対する県民理解促進事業

## ア 目的

障害を理由とする差別については、県民一人一人の障害に対する知識不足や障害者に対する意識の偏りに起因する面が大きいことから、差別のない社会を実現するための妨げとなるこうした諸要因を取り除くため、県民の障害についての知識及び理解を深めることを目的とする。

## イ 事業内容

NPOが実施主体となり、NPOの活動内容やその地域の特色を生かした、障害のある方と地域の方々との交流を中心とする啓発事業を自ら企画し、実施するものとする。

## ウ 実施団体数

4団体

（NPOから企画提案を募り、県が設置する企画案選定委員会において優秀企画案として選定された企画提案書を提出したNPOと委託契約を締結）

## エ 契約期間

平成29年8月から平成30年3月まで

## オ 委託金額

1団体あたり360千円

## カ 平成29年度事業内容

	団体	実施地域	実施時期	事業内容	実績
1	豊橋市肢体不自由児（者）父母の会	東三河南部	平成30年2月11日	合理的配慮に関する有識者による基調講演及びシンポジウムの開催	一般県民230名参加
2	岡崎肢体不自由児・者父母の会	西三河南部	平成29年10月から平成30年1月まで	災害時における車椅子利用者の避難方法の検証	市立小学校3ヶ所及び特別支援学校1ヶ所計4ヶ所で実施（合計53名参加） 当事者、地元住民、学校教員、行政職員等が協働して実施
3	認定NPO法人ひなた	尾張東部	平成29年8月から平成30年3月まで	耕作放棄地にて、地域住民の指導等によるショートタイム農作業の実施。収穫にあたっては地元住民とともに収穫イベントを実施。	第1回収穫イベント78名参加 第2回収穫イベント（地元児童とともに実施）24名参加
4	自立生活センター <small>といる</small> 十彩	西三河北部	平成29年8月から9月まで事例募集 平成29年12月3日劇上演	障害者差別解消法の更なる周知、差別事例・合理的配慮事例の収集及び事例をもとにした劇の上演	障害当事者から181件、健常者から474件の事例を収集 劇の観覧者178名